

へきけんニュース

ホームページ http://www.hokkyodai.ac.jp/edu_center_remoteplace/
メールアドレス kus-hekiken@j.hokkyodai.ac.jp
☎ 0154-44-3291 FAX 0154-44-3292



令和3年度北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センター方針と活動内容を決定！！

北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センター

このことについて、令和3年度第1回へき地・小規模校教育研究センター会議にて、以下のとおり令和3年度の全体方針を確認しました。へき研センターでは、全国的な少子化・小規模校化の中で、へき地・小規模校教育の研究開発および教育実践を進めると共に、北海道教育大学の特色作りの一環として、全国的な役割を果たしていきたいと思っております。そのためにも、へき地校体験実習による学生教育の充実、全国の大学・教育界とのネットワークづくり、国際社会のへき地教育に果たす役割を強化し、日本の中でのへき研センターの存在意義を明確にしたいと思っております。

令和3年度

北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センター方針と活動内容

1. 北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センターの研究・教育の発展と存在意義の明確化

(1) 全国唯一のへき地・小規模校教育研究の中核的なセンターとして、へき地・小規模校教育研究と教育実践活動を発展させる。

- ①『へき地教育研究』の継続発行。教育大学教員および全国からの投稿による研究成果の蓄積
- ②実践活動用『へき地・複式・小規模教育の手引』の普及と継続発行
- ③学長裁量経費等の特別プロジェクト・受託調査研究プロジェクト研究の推進
- ④教育実践活動の推進

(2) へき地・小規模校教育研究センターの研究内容・活動内容を北海道教育大学内外に広く普及し存在意義を明確にする。

- ①「へき地教育推進フォーラム」の開催と発信
- ②「へきけんニュース」・オレンジリーフレットの普及・HPの充実・マスコミ等への発信
- ③センター研究調査刊行物・報告書・収蔵目録等の発行とホームページでの発信

(3) 存在意義の明確化のために、へき研センターの運営体制を明確にする。

- ①へき研センター員間の連携と役割分担，各校の活動支援
- ②教育実習委員会・地域連携委員会・カリキュラム委員会等の委員会との連携体制の強化

2. 北海道と全国のへき地・小規模校で活躍する教員の輩出と学生指導の充実化

(1) 北海道教育大学各校のへき地教育論講義・へき地校体験実習を充実させ，北海道と全国のへき地・小規模校で実践的に活躍できる学生を育成する。

- ①へき地校体験実習参加学生の拡大と受け入れ校の確保
- ②北海道教育委員会と連携したへき地教育プログラムの拡充

(2) へき地校の少人数指導を通じて，教職意欲と教育実践力の高い学生を育成する。

- ①少人数学級での子供との触れ合いなどの感動体験，1日へき地校体験
- ②個に応じた教育・地域連携教育・異年齢指導・遠隔双方向教育・チーム学校等の体験

3. 北海道内教育界におけるへき地・小規模校教育研究センターの役割と存在意義の明確化

(1) 北海道内の教育委員会・学校教育界と連携して，北海道のへき地・小規模校教育研究及び実践を発展させる。

- ①北海道立教育研究所へき地教育教員研修事業（基礎編+発展編）の共同開催
- ②北海道教育委員会・教育局・市町村教育委員会・校長会・学校と連携した研究・研修活動

(2) 北海道へき地・複式教育研究連盟及び各管内研究連盟と連携した北海道のへき地・小規模校教育研究及び実践を発展させる。

4. 全国の大学・教育界におけるへき地・小規模校教育研究センターの役割と存在意義の明確化

(1) 「日本教育大学協会へき地・小規模校教育部門」や「全国大学へき地・小規模校教育研究会」などの全国の大学のネットワークを広げ全国的なへき地教育研究を発展させる。

- ①他大学出前講義や研修事業要請への協力と教員派遣
- ②共同研究員制度によるセミナー等の研究活動の交流

(2) 全国の教育委員会と連携したへき地・小規模校教育研究を進め，存在意義を明確にする。

- ①都道府県教育委員会・市町村教育委員会からの研修講師依頼等への協力
- ②全国の教育委員会等への資料提供

(3) 協定締結団体「全国へき地教育研究連盟」と連携し，全国におけるへき地教育研究を発展させる。

5. 国際社会におけるへき地・小規模校教育研究センターの役割と存在意義の明確化

(1) 国際的なへき地・小規模校教育研究へのニーズが高まる中で、国際社会におけるへき地・小規模校教育研究センターの役割を高め存在意義を明確にする。

- ①英語版HUE RISE Resource Series No.1 “Brief Introduction to Multi-grade teaching Japan” 及び同No.2 “Practical Introduction to Multi-grade teaching in Japan” の普及と発信，英語版HP紹介
- ②国際シンポジウムの開催

(2) へき地・小規模校教育研究センターの国際社会貢献活動を発展させる。

- ①JICA・開発途上国等からのへき地教育研修訪問団の受け入れ
- ②複式学級学習指導に関する指導・助言を目的としたラオス派遣要請への協力

令和3年度北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センター構成員をご紹介します。

北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センター

へき研センター員は、へき地・小規模校教育の全般的な教育実践開発・学生指導・現職教員研修に関わったり、全国のプロジェクト研究・日本教育大学協会を通じた成果の普及活動等にも取り組んでいます。

令和3年度の本センター構成員として新たに加わったセンター員の皆さんをご紹介します。



■中島 寿宏■

北海道教育大学
教育学部教員養成課程
札幌校芸術体育教育専攻

准教授



■秋保 和久■

北海道教育大学大学院
教育学研究科
高度教職実践専攻（釧路）

特任教授



■小澤 一記■

北海道教育大学大学院
教育学研究科
高度教職実践専攻（釧路）

特任教授



■赤間 幸人■

北海道教育大学大学院
教育学研究科
高度教職実践専攻（函館）

特任教授



■荒川 浩一■

北海道教育大学
へき地教育アドバイザー（釧路）

全構成員一覧は次頁に掲載します。

皆様ご多忙の中ご協力いただきありがとうございます。一年間どうぞよろしく願いいたします。

令和3年度 へき地・小規模校教育研究センター 構成員

職名等	氏 名	所 属
センター長	玉井 康之	
副センター長	川前 あゆみ	釧路校
センター員	○池田 考司	札幌校
	中島 寿宏	
	花輪 大輔	
	◎前田 賢次	
	萬谷 隆一	
	宮原 順寛	学校臨床心理専攻(札幌)
	◎渥美 伸彦	旭川校
	笠原 究	
	勝本 敦洋	
	坂井 誠亮	
	高瀬 淳也	
	芳賀 均	
	谷地元 直樹	
	水上 丈実	
	小淵 隆司	釧路校
	糊澤 実	
	○越川 茂樹	
	◎境 智洋	
	早勢 裕明	
	半澤 礼之	
	秋保 和久	教職大学院(釧路)
	小澤 一記	
	森 健一郎	
石井 洋	函館校	
○小松 一保		
坂本 紀子		
山口 好和		
◎阿部 二郎		函館校／教職大学院(函館)
赤間 幸人	教職大学院(函館)	
◎能條 歩	岩見沢校	
へき地教育アドバイザー	加藤 雅子	札幌校
	田中 和敏	旭川校
	荒川 浩一	釧路校
釧路校キャンパス長	浅利 祐一	釧路校
運営協力委員 〔キャンパス長〕	田口 哲	札幌校
	千葉 胤久	旭川校
	五十嵐 靖夫	函館校
担当事務	小林 佳之	教育研究支援部連携推進課
	堀北 昌宏	釧路校室
	酒井 義信	釧路校室総務G
	小野 幸郎	釧路校室総務G